

じんけんコラム(3月)

じんけんコラム ホット❤️スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい
あたたかい話題をとどけます!

百年前の願い! 「人の世に熱あれ、人間に光あれ」



みなさん、この「ことば」をご存知ですか。

これは、今から100年程前(1922年3月3日)に発表された水平社宣言の最後の一節です。宣言の原文は、被差別部落出身の若者によって考えられたもので、長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の痛切な思いが綴られているだけでなく、すべての人があらゆる差別を受けることなく、人間らしく暮らしていける社会の実現を願う気持ちが込められています。

日本国憲法は、生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利を尊重し、「すべての国民は法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」ことを規定しています。しかし、残念なことに、近年においてもインターネット等による誹謗中傷をはじめ、差別の書き込み等があり、県内でも差別事案が発生している現実があります。

この問題は日本固有の人権課題であり、わたしたち日本国民の課題でもあります。個人の尊厳を重んじ、基本的人権を保障することはとても大切なことです。「**人の世に熱あれ、人間に光あれ**」100年前に込められたこの思い・願いを感じ取り、まずは部落差別(同和問題)を正しく理解して、そして、わたしたちの言動につなげていき、この世から不合理な差別をなくしていきたいと願っています。